



市議会だより



第13回富山県民歩こう運動推進大会（平成23年9月25日・富山医療福祉専門学校出発）

健康づくりにウォーキング！

平成23年9月定例会一覧

開会	9月5日	閉会	9月15日	会期11日間
○本会議（主な内容）				
5日	会期の決定	提案理由説明		
		補足説明		
8日	代表質問・一般質問			
9日	一般質問	決算特別委員会の設置		
		議案の委員会付託		
15日	委員長報告・質疑・討論・採決	追加提案		
		提案理由説明・採決		
		議員提出議案		
		提案理由説明・質疑・討論・採決		
		議員派遣		
		決算特別委員会の 正副委員長の選任		
○委員会				
9・15日	議会運営委員会			
12日	総務文教消防委員会			
13日	産業厚生建設委員会			
○議案の審議結果				
予 算（原案可決）	1件			
その他（原案可決）	1件			
人 事（原案同意）	2件			
議員提出（原案可決）	4件			
議員派遣（原案可決）	1件			
合 計	9件			

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は12月です。

第 1 回臨時会

◎平成23年第 1 回市議会臨時会が

7月27日に開催

- ・動産（災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材）の取得についてを可決

契約額3,003万円

9月定例会

◎平成23年度一般会計補正予算（第2号）

1億4,732万8千円外3議案を可決、同意

◎決算特別委員会の設置

- ・委員長に森結氏、副委員長に原明氏を選任
- ・「平成22年度滑川市各会計決算の認定について」を閉会中の継続審査に

本 会 議

◇9月5日に本会議を開き、まず会期を15日までの11日間と決めた後に、平成23年度一般会計補正予算をはじめとした予算等の市長提出議案及び報告の5件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇8日、9日は代表質問及び一般質問が行われ、9名の議員が市政

9月定例会

市議会9月定例会は、9月5日から15日までの11日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成23年度一般会計補正予算等の市長提出議案4件（追加議案2件を含む）、議員提出議案4件及び議員派遣の合計9件です。

審議の結果、市長提出議案の4件は原案どおり可決、同意がなされました。

議員提出議案の4件と議員派遣については、原案どおり可決されました。

一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

次に、質疑終了後に決算特別委員会の設置を決めるとともに、委員の選任を行い、市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

◎なお、決算特別委員会の委員は、次の議員に決まりました。

委員長 森 結

副委員長 原 明

委員 水野 達夫

委員 高木 悦子

委員 古沢 利之

委員 前田 新作

◇最終日の15日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果等の報告があり、採決の結果いずれも委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

その後、市長から人事案件として、教育委員会の委員に辻沢賢信氏（領家町）の任命と固定資産評価審査委員会の委員に神田峰隆氏（本江）の選任が追加提案され、いずれも同意といたしました。

続いて、議員提出議案4件の提案理由説明の後、採決を行い、いずれも可決されました。

最後に議員派遣を議決して、9月定例会を閉会といたしました。

第1回臨時会

◇平成23年第1回市議会臨時会は、会期を7月27日の1日間と決めた後に、動産の取得についての

市長提出議案及び報告6件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の総務文教消防委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、総務文教消防委員長から、付託議案の審査結果の報告があり、委員長報告のとおり、賛成全員で可決されました。

日誌

23年7月

27日

全員協議会
第1回市議会臨時会

魚津市鹿熊地内の養鶏場建設
検討特別委員会協議会

29日

三市議会議員研修交流会（魚津市）

8月

1日

富山地域衛生組合議会
定例会（上市町）

2～4日

姉妹都市豊頃町・札幌時計台
行政視察（北海道）

5日

富山河川国道事務所
重点要望（富山市）

10日

議会運営委員会協議会
東京都板橋区議会より

行政視察

定例議員協議会

魚津市鹿熊地内の養鶏場建設

検討特別委員会幹事会

11日

富山県日韓友好議員連盟・

総会・講演会

平成24年度重点要望

（北陸地方整備局・新潟市）

22～23日

富山地域衛生組合議会

視察研修（福島県）

26日

富山県市議会議長会臨時総会・
県知事との懇談会（高岡市）

29日

議会運営委員会

30日

産業厚生建設委員会協議会
並行在来線に関する

正副委員長会議（魚津市）

新川育成牧場組合議会

臨時総会（魚津市）

9月

1日

定例議員協議会

自治会連合会と市議会との

5～15日

9月滑川市議会定例会
意見交換会

15日

議会報編集委員会

並行在来線等問題特別

27～29日

産業厚生建設委員会
委員会協議会

行政視察（徳島県阿南市・上

勝町、愛媛県今治市）

10月

3日

富山県市議会議長会

7日

研修会（富山市）

定例議員協議会

産業厚生建設委員会協議会
議会報編集委員会

16～21日

日中議員連盟

第19回訪中団派遣（中国）

17日 議会報編集委員会

18日 東京都福生市議会より行政視察

富山地区広域圏事務組合議会

議員協議会・定例会（立山町）

19日

富山県市議会議長会

26日

正副議長研修会（南砺市）
滑川中新川地区広域情報

事務組合議会定例会

北朝鮮に拉致された日本人を
早期に救出する富山県市議会

議員連盟定期総会

27日

大分市議会より行政視察

代表質問

9月定例会では9名の議員が質問を行い、25項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。（すべての質問等詳細を記録した会議録は、12月中旬頃までに、市立図書館に配布する予定ですのでご利用下さい。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用下さい。）

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項

代表質問



1 滑川市の将来設計を問う
2 滑川市の防災について
3 滑川市の運動施設、公園施設の全体ビジョンを問う
4 養鶏場建設問題の対応について
(会派「一心クラブ」) 高木悦子議員

Q 中期財政計画は、学校の耐震化以外に、市の公共施設の改築や耐震を含んだ計画なのか。

A 杉田財政課長 中期財政計画には、市庁舎などが優先になるか分からないが、公共施設の耐震化費用も一部含んでいる。

Q 財政を憂慮するだけではなく、行政は行動を実際取ることを示すべき。これから就業人口が減り、納税できる年代が減る中で、市民の皆さんの生命・財産を守ることを最優先にするという決意が無くてはいけないと思うが、市長の考えは。

A 上田市長 財政状況全般を眺めて優先順位を決めてやらなければならぬ。ただ、風評被害に似た感じで、大地震、大地震と大騒ぎになることに

対して逆の批判もある。

Q 学校施設などの耐震化、老朽化施設の改修などに対する基本的な考え方は。

A 池本総務部長 教育関連施設が最優先で、市庁舎、市民会館などは耐震診断の結果を見て、計画的に考えていきたい。

Q 海岸沿いの中でも住宅密集地の避難所に対する不安が高まっているが。

A 池本総務部長 旧町部には避難施設となる建物が少ないのが実情。大津波が来る際には、まず高台へ逃げることを念頭に置いて行動して欲しい。

Q 市内の運動施設や公園が不十分なのではなく、それを活用していく全体のビジョンが見えないが、そのビジョンを問う。

A 池本総務部長 市内には多くの運動施設や公園

施設がある。こうした施設の目的や将来的構想は施設整備時に十分に検討が行われたと考える。スポーツ・健康の森公園は市民に親しまれ、大いに利用される施設になると確信している。

Q 養鶏場建設問題のその後の経過は。

A 小幡産業民生部長 7月11日に県から農地転用許可が出たが、それ以降、市とタカムラ鶏園で協議は行われていない。

Q 排水はもちろん、半径3キロにも及ぶ臭気も看過できない。十分な情報収集と協議をして、市民の皆さんの不安を取り除くことが課題では。

A 小幡産業民生部長 業者から、鶏舎の実施設設計などが正式に出てきたら、協議などに参加したい。

一般質問



1 環境問題について
2 学校施設について
3 特徴ある町を目指して

Q ストックヤードの完成から2年が経過しているが、どのような効果が出ているか。

A 小幡産業民生部長 利用実績で、平成21年度は1897件、平成22年度は1991件、今年は8月までで977件である。実績は年々増えている。

Q 東部小学校の間仕切りについて。

A 宮川教育次長 2学期からの学習に支障を来さないように、夏休みを中心に工事をしていった。壁の工事、枠の工事は既に終わっている。現在、木製の引き違いの建具を制作中で、これを設置し、9月26日には完成する予定である。

Q 各教室、全部できるのか。

A 宮川教育次長 普通教室、12教室を全部する。

Q 昨年工事を終えた田中



東部小学校

小学校の体育館に車椅子用のスロープがないが、今後の予定は。

A 宮川教育次長 設計の協議の段階で現場のほうから要望がなかったと聞いているが、今後、利用状況等について十分把握したうえで、校舎の耐震補強計画の中で考えていくことにしている。

Q 6月26日の芝張りボランティアの大盛會を機に滑川「ボランティアの日」を制定してはどうか。

A 富士原企画政策課長 市

開田晃江議員

のほうでは、このスポーツ・健康の森公園の芝張りボランティアの成果を契機に、ボランティアの芽をさらに大きく育て、市民協働のまちづくりの推進を進めていきたい。先進地の視察や、他の団体の取り組みを参考にし、「ボランティアの日」も考えていきたい。

Q 時計台の鐘、「海の見える時計台」をPR

A 山下生涯学習・スポーツ課長 全国的に有名な「時計台の鐘」を小学校では、集会で歌ったり、校内放送で流したりしている。一般の方々には高階さんの業績とメロディーを紹介するCDを教育委員会で作成し、JR滑川駅構内で流してもらっている。また、パンフレットやホームページでPRしていきたい。

一般質問



1 地球温暖化対策について 2 防災対策について

野 末 利 夫 議員

Q 新車登録した軽自動車で、電気自動車、ハイブリッド車、アルコール燃料車、天然ガス車及び一部ガソリン車などの国土交通省が示す2005年排ガス基準から75%以上の低減車について、市税で

ある軽自動車税を全額免除とし推進できないか。

A 上田市長

先進の事例を挙げていただいたが、少し全体の動きを見させていただいてから取りかかりたい。税収の問題も含めなかなか難しい問題もある。

やらないということではなく、適正規模に至るかどうか、その判断もまだできていないことから、これから研究していきたい。

Q 平成23年度から平成27年度までの5年で8・5%の温室効果ガス削減に向けて、街灯を

LED（発光ダイオード）に計画的に切りかえてはどうか。

A 松本建設部長

LED照明の特徴として、省電力、長寿命が挙げられ、今まで採用してきた水銀灯や蛍光灯をLEDに変えることで温室効果ガスの抑制ができるものと思う。こ

としになってLED照明の普及が進んでおり、価格も従来の照明に近づいてきたので、これから更新する街灯は可能な限りLED照明に交換することとしていきたい。

Q 東日本大震災では津波による災害で多くの

方が亡くなり、津波対策の必要性が問われている。安心・安全の観点から公的施設の海抜表示看板の設置が計画されているが、市民の皆さんが利用されるご

みステーションにも海

抜表示をし、日頃から津波に対する意識啓発のためにも必要と思うが。

A 池本総務部長

6月議会で議決をいただき、現在、海抜表示板の設置に向けて準備を進めている。海抜の計測の仕方については、特殊な専用の機械を用いて、

私も職員自ら現地で計測していきたいと考えている。設置する場所として、市指定の避難所である各施設43カ所、旧8号線から海岸の地域において、電柱などを活用し、500から800メートル間隔ぐらいで約70カ所を考えている。提言いただいたご

みステーションは、日ごろ皆さんがよく利用される場所なので、適切な場所を勘案し設置していきたい。

一般質問



1 社会環境の整備について 2 教育の向上について

中 島 勲 議員

Q 認知症サポーターについて、①キャラバンメイト・サポーターの人数、②養成講座の実施内容、③活動内容、④今後の取り組みについて伺う。

A 岡本福祉介護課長

①市におけるキャラバンメイト数は8月末で36名、認知症サポーターは1169名、計1205名となっており人口比で3・4%、県は3・1%、国は1・9%である。②養成講座の実施内容は地域包括支援センターで介護予防教室、いきいき市政講座のメニューで地域住民を対象に実施し、今年度からは富山医療福祉専門学校でも開いている。内容は認知症の原因と症状、早期診断・治療の重要性、接する際の心構えなど認知症への理解を深めるもので、さらに高齢者

への虐待についても説明を行っている。③サポーターの活動内容は何か特別なことをしなればということではなく、認知症を正しく理解し、偏見を持たずに、本人や家族の気持ちをよく理解し見守る後援者として、自分のできる範囲で活躍していただくことをお願いしている。④今後の取り組みについては引き続きサポーターの養成を行うとともに、養成したサポーターを地域の社会資源のひとつとして活用できるようフォローアップ研修会を開催し、認知症の方への具体的な接し方について学びを深めていただき安心して住みなれた地域で暮らし続けていけるよう見守りネットワークの構築に向け取り組んでいきたい。

Q 昨年の答弁では、35

人学級の重要性は認めつつも問題点のハードルが高い。例えば市単独での採用・条例・県との関係等々、また国の動きを見ながら検討したいということであつたが、来年度は対象となる学級が出てくるので明確な結論を出す時期にきているのではないか。

A 石川教育長

少人数教育の有効性・必要性は認識している。今のままでいけば今の2年生が3年生になるときにクラスが少なくなる学校も想定されており検討しているが、講師を採用してもクラスを分けて新たに担任を持つことができない。また財政面でもハードルは高いが来年度の人事配置の中でその対応を考えていきたい。

一般質問



1 住宅リフォーム助成制度について 2 防災対策の強化について

古沢利之議員

Q 12月議会にも質問したが、住宅リフォーム助成制度が全国的に広がっている。助成金額の10倍以上の経済効果を地元中小業者に生み出している。12月議会で「検討に値する」と市長の答弁があったが検討したか。実施の考えはないか。

A 碓井商工水産課長 県内では魚津市と黒部市が持っている。当市では現時点では住宅リフォームに対する助成制度は考えていない。

Q 市長は検討したのか。

A 上田市長 もう少し他市の状況を見たい。

Q 今年度の大震災で防災への考え方は変わった。防災計画では情報提供の点で防災無線が大きな柱になっている。停

電の場合、どれだけ対応できるか。また、移動局が18あることになっているが日常の管理はどうか。

A 池本総務部長 停電の場合、非常用バッテリーで親局は12時間対応できる。移動局の管理は防災訓練のときに通信訓練をしている。

Q 確認したところ子局は72時間ということだが、親局は12時間でダウンだ。発電機その他の準備はあるか。すぐ使えるか。

A 池本総務部長 発電機は庁舎内にあるが専用ではない。専用バッテリーを整備したい。

Q 防災無線が聞こえづらいというのはかねてから指摘されている。平成18年に質問したと

きに、防災ラジオの配布も含めて検討したいとのことだった。防災ラジオは防災無線も受信できるFMラジオだ。戸別受信についてどう考えているか。

A 池本総務部長 質問もあり、当時防災ラジオについて調べたこともある。最低500台以上の特注品で値段が数千円ぐらいだった。検討したが、当時県内であまり導入事例がないということ、そのままきてしまっている。防災ラジオが有効な情報手段の一つだというのは間違いないので十分検討したい。

その他の質問事項
Q 避難施設の安全対策について

一般質問



1 地球温暖化対策の取り組みについて 2 千鳥スキー場の取り扱いについて

浦田 竹昭議員

Q 地球温暖化対策滑川市実行計画に基づいた目標達成に向けての意気込みについて問う。

A 小幡産業民生部長 平成27年度までに8・5%の二酸化炭素排出量の削減を目指して、職員全体で取り組む。

Q 電気自動車の啓蒙・啓発並びに普及促進を図るため、補助制度を利用して、電気自動車の導入を検討できないか問う。

A 小幡産業民生部長 市民への普及促進、PRのために、他市の状況を見ながら検討する。

Q 市民サービス、市民への牽引役として、市有施設に補助制度を利用した電気自動車の急速充電装置の設置を前向きに検討できないか問う。

A 小幡産業民生部長 設置費用が高く、電気代等維持管理費もかかるので、他市の状況を見ながら検討する。

Q 自然エネルギー・再生可能エネルギーの具体的な取り組み、当市の姿勢について問う。

A 小幡産業民生部長 太陽光発電については、現在の助成を、小水力発電については、国・県への働き掛け、市の施設については、太陽光発電設備の導入の検討をする。

Q 千鳥スキー場の使用目的、管理状況の現状について問う。

A 山下生涯学習・スポーツ課長 地元町内会が主体となる千鳥スキー場管理運営委員会と委託契約をして、管理をお願いしている。

Q 今後、千鳥スキー場でのスキー大会の開催

について、また千鳥スキー場の今後の利活用についての見解について問う。

A 山下生涯学習・スポーツ課長 スキー場施設としての活用は難しく、今後の利活用については、大変苦慮している。

Q 一町五反の敷地を有する千鳥スキー場の除草管理は、周辺水田の防虫対策やクマ対策として重要であり、スキー場敷地並びにリフト、休憩場等の今後の維持管理について見解を問う。

A 山下生涯学習・スポーツ課長 管理体制を整えるのは難しく、管理運営・利活用について、地元の皆様から提案を含めて、ご意見を伺って決めていく。

一般質問



1 教育文化の向上について 2 有害鳥獣対策について 3 防災対策について

原 明議員

Q 滑川市の歴史・文化・産業などの学習に公共施設の活用は重要であるが、市内の小中学校においてどのような指導しているのか。

A 平井学務課長 小学校においては、校外学習や集団宿泊学習の機会をとらえながら、椎名道三公園、室山野用水、堀江城址等の近隣や、市内の史跡、ほたるいかミュージアム、アクアポケット、博物館、図書館、消防署、浄化センター等の市内の公共施設などの見学を生活科、社会科の時間を活用し、学習に生かしている。

Q 本年6月より実施されているテレビ寺子屋事業の状況と、今後の取り組みは。

A 平井学務課長 放送に先立ち、各小中学校

にはチラシを配布し、子どもたちや保護者の皆さんに周知を図ったところである。視聴できない子どもたちへは学校、放課後児童クラブにDVDを配布している。この事業の実施には、その効果や有効性を検証することは非常に大事であり、今後は小中学生等を対象にアンケートをとり、結果を分析して、内容、時間帯等の見直しを図りながら、番組制作に生かしていきたい。

Q 有害鳥獣（カラス・クマ・サル・イノシシ）の被害対策と状況は。

A 上坂農林課長 カラス

については、当方も苦慮しており、水稲や果樹の農作物被害の情報に寄せられており、おりの設置による捕獲活動を実施している。サ

ルについては、目撃や痕跡情報により、有害鳥獣捕獲隊の出動や、職員による花火・爆竹等を使用した追い払い活動を実施している。イノシシについては、おりの設置を実施している。また、総延長12キロメートルに電気柵を設置し、被害防止に取り組んでいる。

Q 防災マップは市民へ周知活用されているか。

A 折田総務課長 防災

マップは、作成して6年が経過し印刷物も在庫はなく、市のホームページに掲載している。東日本大震災後、国・県の指針等をもとに市の地域防災計画を見直し、新たな情報を盛り込んだ見やすい防災マップの作成を検討したい。

一般質問



滑川市の除雪体制について問う

石倉 正 樹議員

Q 平成23年度の除雪体制は万全か。その見通しは。市有除雪機械台数の18台は変わらないか。除雪委託業者32社及び除雪機械台数は変わらないか。

A 三浦建設課長 市有除

雪機械台数は18台で昨年同様である。除雪委託業者については、9月中に委託の可否や機械台数等の事前調査を行い、その結果をもとに11月中に除雪計画を策定し、12月1日から翌年の3月31日までの期間の万全の除雪体制にする。

Q 除雪に対する市民要望

が増えているのではないか。現状はどうか、また、どう対応されているか。市道認定が条件の一つと聞いているが、その他に条件はあるか。

A 三浦建設課長 昨年、

一昨年と大雪が続いたこともあり、除雪に対する要望件数は増加している。除雪路線は、道路種別、交通量、人家連櫓、通学路等を勘案して選定している。経済事情から委託業者数や機械保有台数が減少傾向にあり、それを補うオペレーターや業者、機械の確保に苦慮しており、すべての要望にこたえることは困難な状況である。これらのことから、小型除雪機械導入の補助金制度の利用を推進し、町内会で組織する除雪活動で対応してほしいと考える。

Q 市民要望にこたえるために、今後の除雪体制をどうするのか。

A 三浦建設課長 現在の

市有除雪機械台数、もしくは委託業者数を最低限維持させたい。

Q 地域での除雪機械購入に補助金はあるのか。その維持管理費用は。

A 三浦建設課長 町内会

単位での小型除雪機械購入に際し、200万円を限度額としその3/4を補助する「地域ぐるみ除排雪活動費補助金制度」がある。

購入後の維持管理については、各町内会での負担としている。

Q 委託業者を育てていくことが大切であり、市発注の工事は、地産地消あるいは愛市購買の観点から、特に除雪に貢献している市内業者にポイントを置くべきではないか。

A 三浦建設課長 市発注工事については、市内業者を優先して災害協定や除雪協力の実績を勘案し発注するよう努める。

一般質問



水野 達 夫 議員

- 1 今後の観光振興について
- 2 海洋高校及び周辺敷地の活用について
- 3 職員の採用について

Q現在の滑川市の観光が抱える課題の中で、特に重要なものが、今後のほたるいか海上観光のあり方だと思う。今後の方向性はどう考えているか。

A碓井商工水産課長 今後のあり方として、大きく3つの方向性が考えられる。1つ目は廃止、2つ目は観光船1隻での継続、3つ目は観光船を増船して継続することである。ほたるいか海上観光は全国的にも知られた観光資源であり、マスコミ等に取り上げられる機会も増えており、滑川のPRという観点から大変重要である。今後の検討委員会における審議を踏まえて決定したい。

Q観光振興に関して、観光客を呼び込むためには、地元の活気が必要である。そのための

一手段は食だと思う。例えば、地元で昔から親しまれてきたどんぶり焼きを市内外にPRすることができないか。

A碓井商工水産課長 観光の資源として、食も非常に大切な資源と考えている。観光で成功するためには、とりあえず地元が盛り上がり、その地域を活性化させて元気にすることはできない。

どんな焼きを活用して市内外へアピールすることができれば、滑川の活性化につながっていくものと考えており、同感である。

Q海洋高校の活用を考えるに当たり、旧水産試験場跡地等の活用を考える一番適切なタイミングだと思うがどうか。

A久保副市長 海洋高校跡地が全県的な競技力向上の施設というこ

とになれば、駐車場問題も出てくる。今後住民の方々のご意見も聞きながら、周辺の利活用も当然視野に入れて、検討していかなければならないと思う。



旧水産試験場跡地周辺

Q総務省から出されているデータによると類似団体別職員数が90団体中最も少ないことを再認識してほしい。そのことを含めて今後の職員採用計画をどう考えるか。

A折田総務課長 現職員の資質向上をさらに図るとともに、退職者補充を中心に計画的に職員を採用していきたい。

産業厚生建設委員会 行政視察報告

(9月27日～29日)

※市職員2名同行

◆徳島県阿南市(特定健診受診率向上対策)

◎生活習慣病予防による医療費抑制のため、特定健診の受診率向上に努めている。現在の受診率は向上しているが、県平均値を下回っている。対策としては、問題点の分析(若い世代が少ない、市で最も大きい病院の受入拒否など)・アンケートの実施・周知の拡大(医療機関、理容院、公共施設にポスターの掲示、民間雑誌への掲載、公用車にシールなど)・未受診者への戸別訪問などを行っている。毎年取り組みを強化し、様々な機会をとらえ勧奨に努めているが、まだまだ周知が足りない。若い世代の受診者を増やすことが重要課題とのことである。

■健康づくり事業について

◎各世代の健康課題や自分自身の健康状態を理解し、日頃から健康づくりや介護予防に目標を持って取り組めるよう、次の事業等を行っている。

①阿波踊り体操指導員派遣事業

ボランティア組織の「阿波踊り体操愛好会」が定期的な体操教室や依頼があればいつでも出向き、様々な団体をおして運動のきっかけづくりや阿波踊り体操の普及を図っている。平成22年度では、愛好会会員は51人、参加者数は4384人となっており、着実に市民への広がりが見られる。体操のバージョンも基本編からトレーニング編など8バージョンに拡大され、それぞれの目的や体調にあった体操を行うことができ、DVDの貸し出しもあり、家庭でも気軽に行える。基本編を1回踊るとウォーキング500歩相当になる。

②達者でおろな健康教室

心身の機能が低下する生活不活発病を予防するとともに、人と人との交流を持つことで身体のみならず、心の健康につながるため、健康チェックや阿波踊り体操などの運動器の向上対策、栄養改善、認知症予

おける地域農林水産業の振興、ビジョンを描く必要性と都市宣言を着実に実行するために条例を制定している。この条例は、地産地消、食育、有機農業の推進を柱とし、市民が地元で生産された安全かつ新鮮な農林水産物を消費することで、健康増進はもとより、農林水産業の振興、地域経済の活性化を目指している。また、地域ブランドの確立（今治産＝安全・安心）なども期待している。

■地産地消 ◎学校給食をフラグシップにPRし、自校方式の調理場（24調理場あり、全調理場に栄養士を配置し、24とおりのメニューがある）で、地元の野菜、特別栽培農産物を優先使用（今治産約32%、県内産約50%）し、米は100%地元産特別栽培米（農薬・化学肥料当地比50%削減）を玄米で保管し、使用している。その他、地産地消認証（今治産の安全な農産物の生産、流通、販売店を認証し、食メールで配信。現在21店が認証）など、学校給食以外にも広がりを見せている。

■食育 ◎食と農のまちづくりを進めるためには、きちんとした教育が必要であるため、小学校の食育

カリキュラムの作成や、小学校4・5年生を対象に自分の食生活を知る

技、生活習慣病にかからない技、買物の技（表示を見る技）、調理の技を習得する食育モデル授業、教科書、指導要領、DVD、教材の作成等を行っている。その他、食材の生産者を校内テレビで毎日紹介している。学校給食の食育効果検証のため、「食材を選ぶときに注意していること」という内容でアンケート調査した結果、今治市で給食を食べたグループは、できるだけ地元のものを購入したり表示を確認したりして安全なものを選択するという傾向が見られた。

■有機農業の振興 ◎有機農業を軸に地産地消で食育力を高め、食育効果で地産地消を推進していくため、学校有機農園設置運営事業（学校農園で有機認証を取得）や実践農業講座（月2回、年24回の有機農業の基礎知識や技術を習得する農業講座）、田んぼの生きもの調査（毎年、有機田や周辺水路の生きもの調査等）を実施している。

滑川市自治会連合会と市議会との意見交換会

9月1日、滑川市自治会連合会と市議会との意見交換会を初めて開催しました。

連合会は28名の役員の出席、議会には15名全員の出席で、中川勲議長の挨拶、高田衛会長の挨拶の後に、市議会からは各委員会の委員長から委員会についての概要や活動内容が報告されました。

次に、高田会長から防犯、防災や福祉などの分野で負担が増すなど、各自治会共通の課題や問題点について説明がありました。

その後、意見交換に入り、連合会役員の方から、

- ・ 町内の除雪の苦労や問題
- ・ 富山湾で想定される津波の高さや避難場所について
- ・ 早月川左岸道路の早期完成（孤立集落の防止のため）
- ・ 早月川低水護岸の環境整備（クマ対策）
- ・ 魚津市鹿熊地内の養鶏場建設問題について、今後の見通しなど
- ・ ボランティア参加の考え方

・ 並行在来線に関して、線路下を通る用水路の拡幅（洪水対策）

・ 議員定数の削減について

など、安心・安全なまちづくりに関する意見や要望が多く出されました。

これらに対し、議長や各議員から率直な考えなどが述べられ、当局に進言すべきものについては、早急に伝えることとしました。

最後に、開田晃江副議長の挨拶で閉会となりました。



委員会

平成23年第1回臨時会の委員会の審査から

■総務文教消防委員会

審査議案は1件であり、慎重に審査が行われ、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◆動産の取得について

9月定例会の委員会の審査から

9月定例会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は1件であり、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

▼平成23年度滑川市一般会計補正予算（第2号）

■産業厚生建設委員会

審査議案は2件であり、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

▼平成23年度滑川市一般会計補正予算（第2号）

◆市道の路線認定について

議会放送と録画放送のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ092チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、12月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、放送時間等については、決定次第、市広報・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。



議会報編集委員会から

この号がこのメンバーでの最後の議会だよりの発行になります。2年間ありがとうございました。



議会報編集委員会の委員

「市議会だより」について、皆さまのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話475-2111（内線371）

9月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件名及び提出者

処理結果

① 議員提出議案（4件）

- | | |
|---|----------|
| 1 議員提出議案第10号 「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 前田 新作 外5名 | |
| 2 議員提出議案第11号 領海警備法の早期制定を求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 岩城 晶巳 外6名 | |
| 3 議員提出議案第12号 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 原 明 外6名 | |
| 4 議員提出議案第13号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書 | 本会議結果＝可決 |
| 滑川市議会議員 中島 勲 外5名 | |

件 名 及 び 提 出 者

処 理 結 果

② 意見書提出要請（４件）

- 1 「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書…………… 議会運営委員会一致
富山県医療労働組合連合会 執行委員長 清 水 真有子 (議員提出議案第10号へ)
- 2 領海警備法の早期制定を求める意見書…………… 議会運営委員会不一致
日本の主権と領土を守る新川地域の会 代表 岩 城 宗 寿 (議員提出議案第11号へ)
- 3 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書 …………… 議会運営委員会不一致
稲 垣 源 造 (議員提出議案第12号へ)
- 4 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書…………… 議会運営委員会不一致
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県市議会議員連盟
会長 中 川 勇 (議員提出議案第13号へ)

③ 要望書（４件）

- 1 市発注事業の市内業者への優先発注並びに分離発注による受注機会拡大に関する要望書…………… 全議員へ参考配付
滑川市造園業組合 組合長 谷 一 忠
- 2 地球防衛宣言に関する陳情書…………… 全議員へ参考配付
荒 木 實
- 3 森林・林業に関する要望書…………… 全議員へ参考配付
滑川市木材共同組合 代表理事 八倉巻 秀 夫 外 1 団体
- 4 拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について …………… 全議員へ参考配付
福岡県筑後市長 中 村 征 一 外 3 団体

9 月定例会での本会議の結果について

議 案 内 容 等

採 決 結 果

- ◎議案第43号及び45号…………… 原案可決（賛成全員）
平成23年度滑川市一般会計補正予算（第 2 号） 外 1 件
- ◎議案第46号及び47号…………… 原案同意（賛成全員）
滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について 外 1 件
- ◎議員提出議案第10号…………… 原案可決（賛成全員）
「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書
- ◎議員提出議案第11号…………… 原案可決（賛成多数）
領海警備法の早期制定を求める意見書
賛成者＝高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・砂原・野末・高橋・前田
反対者＝水野・古沢・森
- ◎議員提出議案第12号…………… 原案可決（賛成多数）
「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書
賛成者＝高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・砂原・野末・高橋・前田
反対者＝水野・古沢・森
- ◎議員提出議案第13号…………… 原案可決（賛成全員）
北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
- ◎議員派遣について…………… 原案可決（賛成全員）

第 1 回臨時会での結果について

議 案 内 容 等

採 決 結 果

- ◎議案第42号 …………… 原案可決（賛成全員）
動産の取得について